



# 南魚沼市

## 12月定例会

12月14日～12月25日 傍聴者 36人(延べ)

# 議会だより

No. 65

2021年2月15日発行

●発行責任者：南魚沼市議会議長 小澤 実  
●編 集：議会広報編集特別委員会

一般質問録画映像の配信をしています！



八海山麓スキー場より浦佐方面を望む

令和2年第3回臨時会の概要／議決結果	2ページ
令和2年度南魚沼市一般会計補正予算／その他議案審議	3ページ
12月定例会議決結果／委員会審査報告	4・5ページ
一般質問18名が市政を質す	6～15ページ
各常任委員会報告	15ページ
3月定例会の予定／議会の新型コロナウイルス対策	16ページ

※12月定例会の開催が遅れたため、議会だよりの発行日が変更になりました。

令和2年  
第3回臨時会  
の概要

10月16日に臨時会が開かれました。  
一般会計の補正予算の審議が行われました。

令和2年度南魚沼市一般会計補正予算（第8号）

1億6,000万円を追加

予算総額398億8,739万1,000円に

令和2年度  
一般会計補正予算

質疑応答

Q & Aは一部のみを掲載しています。

○大規模改造工事費（中学校）

4,100万円

Q 六日町中学校の第二体育館の床が腐食により損傷したということだが、学校現場から、状況を見てほしいという話があったのはいつ頃か。

A 平成26年頃からであり、現場に行つて見ると、床材がつかない状態であるが、その床材がかまぼこ状にたわんでいて、そこに少し隙間ができてきているという状況であった。

○新型コロナウイルス感染症検査費用補助金 800万円

Q 補助金は従業員の3分の2の検体分ということだが、飲食店なども含めて、家族経営や2人でやっているところについては、どうなるのか。

A 一人事業主についても対象にするが、ある程度の少人数はその人数までという規定を設ける。足切りはしないが、大体20人以上については3分の2ぐらいということで、制限をしようと思つている。

○南魚沼市ふるさと応援プレミアム付き旅行券事業補助金 1億1,200万円

Q 市内で減収している方々は運転資金不足の課題に直面している。この事業は精算時に現金化することができない。実際に運転資金が足りないであろう旅行者への何かしらの措置について協議をしてもらった経緯があるのか。

A 国・県からの運転資金の融資がかなり充実しているので、運転資金についてという話は、基本的になかった。

Q 最近の宿泊客は宿泊日ぎりぎりになって予約する傾向がある。お金の振り込みや郵送の行き来に時間がかかって宿泊日までに間に合うのか。

A 基本としては、申込者から振り込んでいただいて観光協会から旅行券を簡易書留で送る。宿泊日ぎりぎりでの対応というのは、この制度からいくと難しい部分もあるが、検討したいと思う。

※一部予備費を充当しました。

令和2年第3回臨時会の全議決結果

議案番号	市長提出議案	議決結果
第108号議案	令和2年度南魚沼市一般会計補正予算（第8号）	可決（全会一致）

## 12月定例会 の概要

本議会は12月14日、21日～23日、25日の5日間、常任委員会は12月16日～18日に開かれました。副市長に岡村聡氏と外山千也氏、監査委員に片桐真司氏の選任に同意しました。議決結果は4～5ページをご覧ください。

### 令和2年度南魚沼市一般会計補正予算（第9、10号）

# 5億891万3,000円を追加

# 予算総額403億9,630万4,000円に

#### 令和2年度 一般会計補正予算

#### 質疑応答

Q & Aは一部のみを掲載しています。

#### ○子ども家庭総合支援拠点事業費

1,554万円

#### Q 拠点の内容と人員体制は。

A 子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の両方の機能を持たせ、妊娠期から子育て世代までの窓口をひとつにして、相談にあたっていく。人員体制は、保健師、保育士、社会福祉士、家庭相談員で情報を共有して行っていく。

#### ○地域医療対策事業費

300万円

#### Q 調査委託費の内容と時期は。

A 医療のまちづくり検討委員会からの提言を受けて、大和病院施設の今後の検討を進めていくために、施設の基本的データを年度内に調査し、今後の検討資料とする。

#### ○イノベーション人材育成事業費

120万円

#### Q 設計業務委託料の内容は。

A 松井人材育成基金の趣旨に沿って、人材育成を進めていく拠点を整備するためであり、拠点設置者は南魚沼市、拠点運営者は南魚沼市まちづくり推進機構の計画である。

#### ○小・中学校、特別支援学校授業運営費

5,000万円

#### Q 機械器具等設置工事費の内容は。

A 手洗い用の温水設備を設置する。

#### その他議案審議

Q & Aは一部のみを掲載しています。

#### 第114号議案 令和2年度南魚沼市病院事業会計補正予算（第2号）

#### Q PCR検査の実施については、どのような場合を想定しているのか。

A 受入患者や緊急手術時の罹患状況の確認、転院時の判断等を想定している。1時間ほどで結果が出るため、緊急対応が可能となる。

#### 第120号議案 南魚沼市副市長定数条例の一部改正について

Q 医療対策の範囲も見えない中で、副市長職の設置は妥当か。特別顧問で十分ではないか。

A 様々な選択はあるが、その職でないときないと市長判断でやらせてもらう。

Q 市民病院は地方公営企業法の全部適用であり、病院の権限は事業管理者にある。副市長では病院に関する権限は無く、市長がやりたいことと矛盾するのではないか。

A そういう立て分け論ではなく、それを越えてやっていくということで理解いただきたい。

#### 第122号議案 南魚沼市松井人材育成基金条例の一部改正について

Q 田園都市構想とあるが、農業を中心に次世代の若者が活発に起業していくということにも使える基金と考えるとよいのか。

A 食品、畜産、観光等も含め、基幹産業である農業とリンクさせていきたいと考えている。

議案番号	市長提出議案	議決結果
第131号議案	南魚沼市教育委員会委員の任命について（川島亜紀子氏）	同意（全会一致）
第132号議案	人権擁護委員の候補者の推薦について（高野輝幸氏）	同意（全会一致）
第133号議案	財産区管理会財産区管理委員の選任について（廣田久作氏）	同意（全会一致）
第134号議案	南魚沼市特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正について	可決（賛成多数）
議案番号	請願・陳情	議決結果
請願第2号	高齢基礎年金等の抜本的な改善を求める請願	不採択（賛成少数）
議案番号	議員発議案	議決結果
発議第6号	北朝鮮による拉致問題の早期解決を求める意見書の提出について	可決（全会一致）

## 賛否一覧表

起立採決等によりそれぞれの賛否が明らかに示され、かつ、賛否が分かれた議案について詳細を表示しています。

○=賛成    ×=反対    -=退席    欠=欠席

※議長は採決に加わりませんが、賛否が同数の場合は議長採決となります

会派	南魚みらいクラブ						歩む会				未来創政会				市民クラブ			日本共産党議員団				
	目黒哲也	吉田光利	塩川裕紀	清塚武敏	小澤実	黒滝松男	関常幸	勝又貞夫	鈴木一	塩谷寿雄	牧野晶	阿部久夫	大平剛	永井拓三	桑原圭美	中沢一博	梅沢道男	田中せつ子	佐藤剛	寺口友彦	中沢道夫	岡村雅夫
第112号議案	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第120号議案	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
第134号議案	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
請願第2号	×	×	×	×	※	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○

**社会厚生委員会 付託審査**  
(令和2年12月18日)

請願第2号  
高齢基礎年金等の抜本的な改善を求める請願について

年金支給額は2013年10月から2015年4月までに3・4%減額され、2020年度は物価の伸びよりも0・3%の削減となりました。高齢者も若者も安心して老後を暮らせるように、高齢基礎年金等の支給額を改善することを国会、関係行政庁に求める請願です。

【賛成討論】  
高齢者には、働けない人もいます。生きていくためには、年金しか頼るところがないとなれば、若者の収入構造の面も含めて抜本的に見直しをしていかなければならない。

【反対討論】  
コロナ禍の厳しい状況の中で、若い人も収入が大変だ。これから果たして年金を納めていけるのかという不安がある。ただ高齢基礎年金を下げないようというだけでは無理がある。

◆賛成少数で不採択

# 令和2年12月定例会の全議決結果

議案番号	市長提出議案	議決結果
第26号報告	専決処分した事件の承認について（令和2年度南魚沼市一般会計補正予算（第9号））	承認（全会一致）
第27号報告	専決処分した事件の承認について（南魚沼市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について）	承認（全会一致）
第28号報告	専決処分した事件の承認について（南魚沼市特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正について）	承認（全会一致）
第29号報告	専決処分した事件の承認について（南魚沼市職員の給与に関する条例の一部改正について）	承認（全会一致）
第109号議案	令和2年度南魚沼市一般会計補正予算（第10号）	可決（全会一致）
第110号議案	令和2年度南魚沼市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第111号議案	令和2年度南魚沼市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第112号議案	令和2年度南魚沼市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決（賛成多数）
第113号議案	令和2年度南魚沼市水道事業会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第114号議案	令和2年度南魚沼市病院事業会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第115号議案	南魚沼市税条例の一部改正について	可決（全会一致）
第116号議案	地方税における延滞金の割合の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例について	可決（全会一致）
第117号議案	南魚沼市国民健康保険税条例の一部改正について	可決（全会一致）
第118号議案	南魚沼市立学校設置条例の一部改正について	可決（全会一致）
第119号議案	南魚沼市火災予防条例の一部改正について	可決（全会一致）
第120号議案	南魚沼市副市長定数条例の一部改正について	可決（賛成多数）
第121号議案	南魚沼市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例の一部改正について	可決（全会一致）
第122号議案	南魚沼市松井人材育成基金条例の一部改正について	可決（全会一致）
第123号議案	南魚沼市愛プロジェクト推進基金条例の廃止について	可決（全会一致）
第124号議案	字の変更について（国土調査法関係）	可決（全会一致）
第125号議案	市道の路線変更について（道路法関係）	可決（全会一致）
第126号議案	南魚沼市養護老人ホーム魚沼荘の指定管理者の指定について	可決（全会一致）
第127号議案	八海山麓観光施設の指定管理者の指定について	可決（全会一致）
第128号議案	南魚沼市副市長の選任について（選挙：総括 岡村聡氏）	同意（全会一致）
第129号議案	南魚沼市副市長の選任について（選挙：特命 外山千也氏）	同意（賛成多数）
第130号議案	南魚沼市監査委員の選任について（選挙：片桐真司氏）	同意（全会一致）



**一般質問とは・・・**  
**議員が市の行政全般について、**  
**執行機関に対して所見を求め、**  
**疑義を問いただすもの。**

■ 質問順位

- 1 岡村 雅夫
- 2 田中せつ子
- 3 桑原 圭美
- 4 清塚 武敏
- 5 寺口 友彦
- 6 永井 拓三
- 7 梅沢 道男
- 8 黒滝 松男
- 9 塩谷 寿雄
- 10 中沢 道夫
- 11 鈴木 一
- 12 中沢 一博
- 13 佐藤 剛
- 14 目黒 哲也
- 15 勝又 貞夫
- 16 大平 剛
- 17 牧野 晶
- 18 吉田 光利

各議員の氏名の下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧になります。

Q & Aは一部のみを掲載しています。

一

般

質

問



日本共産党議員団

岡村

雅夫



**市民病院にPCR検査機**  
**独自検査の考えはあるか**

**答** 自由診療の方針で詳細な検討を行う予定

**Q 質問** 市民病院に設置するPCR検査機費用が予算化されたが、市の独自検査の利用を広めていく考えはあるか。

**A 市長** 導入を予定しているPCR検査機は1台で、1回の検査で8検体をおおむね1時間で判定できる。院内で独自検査を行うことが可能となる。

**プレミアム付き飲食・宿泊券事業の情報公開を**

**答** 全部公開していいかの判断は市長が行う

**Q 質問** 市観光協会とJAみなみ魚沼の委託契約書には、販売方法、販売箇所、販売数、販売記録、書式などがあるはずだ。市は委託契約書を保有してなければ

ば監督ができないと考えるが。

**A 市長** この事業は市からの委託事業ではなくて、市もともに進めている事業と解しており、あくまで市観光協会が市に申請した補助事業となっている。そのため、随時、担当課と連絡調整は行っているが、委託事業ではないので、監督という形は取っていない。

**Q 質問** 顛末の報告書はいただきたいというのだが、市長が受け取った報告は市民が受け取ったものであると見なして、公開の対象としておくべきではないかと思うが。

**A 市長** 市長が受け取るのは当たり前ではないか。しかし、その中には、詳細に実名まで含まれた、そしてその責任の所在を明確にする形で、すべて記載がある。これを市民の皆さんに全部公開していいかどうかという判断は、私がさせてもらう。



市民クラブ

田中せつ子



### 公共施設等の除草剤使用には危機管理意識を

**答** 草刈り機と除草剤を併用して行っている

**Q 質問** 公共施設での除草剤散布状況と、管理マニュアルに沿った安全対策の周知徹底は。

**A 市長** 学校では、年に3回程度、保育園では、今年度においては、やむを得ず除草剤の散布を1回行った。公園では、散布後に短時間で土壌分解する安全性の高い除草剤を適切な使用方法により散布している。いずれの施設においても各マニュアルに沿い、薬剤の使用方法を守って使っている。

**Q 質問** 他の市では、草刈り等を業者に作業委託している。当市においても除草剤に代わる手立てを検討しているか。

**A 市長** 極力、除草剤の使用は控えたが、現段階では両方を併用したいと考えている。

### 小中学校のトイレ洋式化を進めよ

**答** 国の補助事業を活用して整備する

**Q 質問** 小中学校のトイレ洋式化は、59%と県平均並みであるが、義務教育の小中学校で学習環境に差があるのは、好ましくない現状と考える。公平に見童・生徒の健康を守り、衛生環境を整えるには、早急にトイレの洋式化が必要では。

**A 市長** 補助事業を活用してトイレの洋式化を実施する計画である。北辰小学校と大和中学校は老朽化が進んでおり、大規模改修の事業などと同時に実施する必要があるのではないかと考えている。トイレだけの問題に限らない。これらをいかにやっていけるかということ、検討も加えなければならぬ段階かと思っている。



未来創政会

桑原 圭美



### コロナ禍において市民の暮らしをどう守るか

**答** 大きなテーマとして取り組む

**Q 質問** 新型コロナウイルス感染症ワクチンは全市民が無償で接種できるのか。その時期、方法は。

**A 市長** 全額公費で行う。医療従事者、高齢者、基礎疾患を有する方、高齢者施設従事者の順に接種を行う。高齢者分のワクチンクーポンは3月に発送できるように準備する。

**Q 質問** 今後、様々な業種・業態が変化することを見据え、事業再構築に対する補助制度の創設が必要ではないか。

**A 市長** 政府の新たな経済対策が閣議決定された。社会経済の好循環のため、事業再構築補助金の創設などが盛り込まれている。現時点では制度の概要は不明で

あり、国・県の動向を慎重に判断していく。

**Q 質問** 国の経済対策に加え、市は市内経済に対する景気刺激策をどう考えるか。

**A 市長** 「雪恋」旅行券を発行し、冬季間の市外からの誘客を狙っているが、大都市圏の感染拡大により、販売が順調に進んでいない。景気刺激策は必ず実施したいが、状況を見て慎重に対応していきたい。

※南魚沼市ふるさと応援プレミアム付き旅行券は「雪恋」旅行券と表記しています。

**Q 質問** 経営危機に陥っている地元業者への金融支援策の充実をどう図るか。

**A 市長** 国・県共に資金繰り支援策の延長が決まっている。国・県を上回る制度は、市としては難しい。



南魚みらいクラブ

清塚

武敏



### 新ごみ処理施設の今後の進め方は

**答** 2市1町で早期に方向性を検討して決めていくことになる

**Q 質問** 新ごみ処理施設を市の発展の拠点とするのであれば、日本で一番の先進地となるような環境学習・教育もあわせた構想と計画が必要と考える。市長の考え方と今後の進め方を問う。

① 新ごみ処理施設の選定はあくまで行政主導で進めるのか。  
② 環境学習・教育もあわせて考えていく必要があるのではないのか。  
③ 熱エネルギーを利用したプールや温浴施設を併設して、市民の健康寿命を延伸し、市の発展の拠点とするビジョンと今後の進め方は。

**A 市長** ① 2市1町、南魚沼市と新沢町長と早期に協議の場を持ち、考え方を共有した上で確認をしい、方向性を決めていきたい。



南魚沼市環境衛生センター

② 地域における環境学習と教育については次世代につながる持続的な取組として必要性を十分認識している。  
③ 市の課題でもある健康・福祉・医療にも結び付けていく高い理想をもった施設を考えている。

健康寿命延伸が地域にとって大きな目標である。

### 「雪恋」旅行券取扱店への協力金徴収をやめては

**答** 取らないで支援する

**Q 質問** 市内産主食用米は昨年より1万6,500トン増える見込みだ。外食・中食産業はコロナ禍で需要が減り、米価ならびに販売予約数量は落ち込む。「雪恋」旅行券で消費増を期待する。

一部宿泊施設に協力金を求めるのは、事業資金金額がコロナ対応地方創生臨時交付金であり、経済支援に水を差すのでは。

**A 市長** 「雪恋」旅行券は宿泊券7千円と地域利用券3千円で1万円である。米の消費とお土産購買に期待する。市の経済再生連携会議で、旅行券の発行を市が提案した。意見交換会で、観光協会非会員には一冊500円の協力金を決定したが、市が提案したのではない。交付金の趣旨に沿うよう、取らないことに変更した。



市民クラブ

寺口

友彦



### 井戸水源の地域別水源方式は不安では

**答** 畔地浄水場と井戸水源の併用で考える

**Q 質問** 畔地浄水場適正規模更新と非常用水源の利用の場合と、浄水場を廃止して井戸水飲料に切り替えの場合の費用比較があまりない。市内一の人口を抱える六日町市街地が井戸水では不安だ。畔地浄水場の監視施設を利用しながら、自然流下供給が可能な地域とポンプアップが必要な地域を分けて更新すべきでは。

**A 市長** 40年間の維持管理・返済費用をすべて積算して比較するが、現状把握ができていない。6地区の井戸とダムで可能かを探る。強制的な方式はまだ試算していない。畔地浄水場の利用と高所での井戸はポンプによる圧送が必要だが、複数の水源方式を検討し、令和5年度までに費用を明示する。



未来創政会

永井 拓三



### 南魚沼市の環境政策は

**答** 雪を活用した環境政策を展開していく

**Q 質問** 市長選挙で訴えていた脱炭素社会を目指す道筋はどのようなものか。

**A 市長** 雪室倉庫群が整備・稼働する中で環境省にも訴えた。雪の持つ自然エネルギーを有効活用することが脱炭素社会の実現、地球温暖化を抑制する取組だと考えている。

**Q 質問** 南魚沼市の環境教育は今後のような計画でいるか。

**A 市長** 未来への期待が大きいものだと思っている。子供たちに正しい知識や考え方を教えていくという環境教育は重要な課題であると考えている。

**Q 質問** 環境共生について、有害鳥獣駆除（イノシシ）を地域おこしにつなげることはできないか。

環境共生について、有害鳥獣駆除（イノシシ）を地域おこしにつなげることはできないか。



いか。

**A 市長** まだ考えは至っていないけれども、有害鳥獣の有効利用の提言をしてもらう中で考えていきたい。

### 南魚沼市の修学旅行は

**答** 新型コロナウイルスのこともあり県内で検討している

**Q 質問** 修学旅行で楽しい小・中学校の思い出を作って卒業させたいと思うが。

**A 教育長** 中学校3年生は残念ながら6年生は行えた。各校で行き先などを現在、検討しているところだ。



市民クラブ

梅沢 道男



### 新ごみ処理施設建設には2市1町の共通認識を

**答** 同じ認識でやっている

**Q 質問** 新ごみ処理施設の建設については、6月議会での新たな検討に入っているとの答弁もいただいていたところだが、その後の進捗状況と2市1町の確認事項の追加や変更等があったら伺う。

**A 市長** 候補地選定については定まっていない。進捗は、大きく言えばない。確認事項の追加や変更等もない。

**Q 質問** これまで建設地について健康・福祉・医療とか、健康づくりの拠点という話をしているが、これはまだ確認事項ではないということか。

**A 市長** 共通認識はあると思うが、個別具体的に2市1町でそういうものを作るといったことは至っていない。

**Q 質問** 基本協定から6年近く経ち、この間市長は説明会や議会でも、健康増進施設という話をしていくが、これを南魚沼市だけでやるとなった場合、大変な問題にならないか。2市1町で共同歩調が取れないのではないか。

**A 市長** 2市1町の歩調が合っていないというが、私の口からは言えない。同じ気持ちでやっていると同答させていただく。2市1町でやれば良いが、一部には南魚沼市だけでやらなければいけないこともあるかもしれない。

**Q 質問** 付帯施設は2市1町で確認しながら進めることが大事だ。また、広報に掲載したごみ通信南魚沼等の取組も一緒にやるべきだったのではないか。

**A 市長** そういう話をされることはよく分かる。しかし、同時にやれば一番いいが、なかなかそれには相応しくなかったということではない。



南魚みらいクラブ

黒滝

松男



11月の市長選挙の総括は

**答** ルール、モラルを守って明るく公正な選挙にするべきだ

**Q 質問** 11月15日に投票開票された市長選挙で現職の林市長が2万2,534票獲得し、新人候補に1万5千票以上の大差で再選した。告示前から政治活動として街宣車が活動し、候補者の氏名の連呼や氏名類推事項を掲示した。また、一市民から自分の所有地に無断で立て看板が立てられ撤去させたとの報告も聞いている。これらについて市長はどう思うのか伺う。

**A 市長** 公職選挙法では、選挙活動の期間は、告示日の立候補届の受付が済んだ後からと定め、届け出前の選挙活動を厳禁している。ゆえに、告示前の選挙運動はできないが、政治活動は禁止されていない。また、無断で看板が設置されたという迷惑な事例もあり、猛省をうながしたい。

今後の具体的な医療体制は

**答** 医療再編は今後の市政運営の1丁目1番地と考えている

**Q 質問** 医療・福祉のまちづくりとして、市立病院群の再編、常勤医の確保による、経営の健全化の具体的な取組を伺う。病院事業の危機的状況の中で、自治医科大学の寄附講座が開設されたことは、大きな実績であったと思うが、外山副市長の就任後、どのような形で取り組んでいくのか。

**A 市長** 魚沼圏域は全国的にも最も危機的状況にある。特命副市長を置き、医療対策推進本部を設置し、新体制で経営の健全化や医師不足に取り組んでいく。

**A 知事** 医師確保については、10月に開設された自治医科大学の寄附講座を足場にして、さらに拡充していきたい。



歩む会

塩谷

寿雄



コロナ対策としてインフルエンザ予防接種補助は

**答** 今は行っていない

**Q 質問** インフルエンザ予防接種の補助は、近隣市町村では65歳以上はもちろん、主に子どもを対象とした取組がある。魚沼市は全市民を対象としている。新型コロナウイルスには、風邪、インフルエンザ初期症状と似ている点を持つ保護者は通院をできるだけしたくない点から、わが市も補助すべきだ。それとともに発熱が出た時の初動が大事と市も広報やウェブサイトで告知しているが、11月の南魚沼警察署で新型コロナウイルス感染者が出た時、開業医のところに行ってしまった。消毒のため休業したと聞いた。市民への告知を徹底せよ。

**A 市長** 今までは予防接種の補助は行わない考えだったが、議員との質問の中で、必要なので

コロナ対策として経済対策を考えているか

**答** 議会と一緒に考えていく

**Q 質問** 飲食業など客足がやっと元に戻ってき始めたところ、11月に市内初のクラスターが発生したことにより、様々な業種に大きな打撃となった。一定以上の落ち込みがあった事業店舗に、現金支給など、市の限りある予算で何か緊急対策を考えているか。

**A 市長** 市内の事業者において、11月以降の落ち込みはひどいと聞いている。何かしらの経済対策を打たねばならない。議会からもどんどん提案していただき、考えていきたい。



日本共産党議員団

中沢 道夫



地域医療体制の充実

医療対策推進本部を立ち上げ 全庁あげて取り組む

「南魚沼市医療のまちづくり検討委員会」では、委員は第三者のみであり、南魚沼市民病院・ゆきぐに大和病院など、医療現場のメンバーは入っていない。新たに設置する「医療対策推進本部」には、医療現場の意見が反映されるよう構成員に入れることが必要だと考えるが、市長の見解を伺う。

市長は市長で、副本部長は新たに設置した副本部長とし、病院事業管理者やそれぞれの病院長をはじめ、多くの病院スタッフも参加させたい。

安心して住み続けられる南魚沼市とするために、地域包括ケアシステムを構築することが必要だ。そのためには、現在の市立病院や診療所は、公立・公営のまま維持してこそ、市役所の介護・保健・健康づくりと一体の施策が可能になると考えるが市長の見解を伺う。

そのまよいけばいいが、様々あるということも含め、検討を加えていかなければならない。公立・公営がいいと思ってるが、そこだけに固執しては、物事は前に進まないと思う。

新型コロナウイルスを経験して、効率優先の医療のあり方でのいいのか、議論が広がっている。持続可能な医療体制構築に向けた、本部長としての考えを伺う。

ここで生まれ、亡くなるまでここで過ごしていける医療体制を作り上げていく。私たちの地域は自分たちで守り抜く視点を大前提としながら、持続可能な地域社会作りを目指していきたい。



歩む会

鈴木



今回の市長選挙の違法性はあるのか

警察の判断となる

立て看板は市道・県道などの官地であれば、当然「道路占用許可申請」が出されたと思うが、出されていないとすれば、どのような指導をしたのか。

この度の市長選挙に関する、市道・県道に設置された掲示物については、どちらも届け出がない。市道に関しては本来指導をするべきであったが、通行の支障がないことも考慮し、個別に指導を行っていない。県道に関しては、市民からの照会により、告示前5回、告示後3回の計8回、数回選挙事務所に連絡し、指導したと回答を受けている。

告示前、街宣車による連呼等があったが、違法性は、

告示前に政治団体が選挙運動をした場合、公職選挙法に抵触すると考えられ、禁固刑・罰金刑がある。

市内無人駅の安全対策は

人件費の削減・経営効率化の観点から難しい

市内には無人駅が6駅あり、夜間には無人駅では、夜間は特に危険だと思われる。防犯カメラ設置もあるようだが、人員配置が望ましいと思うが。

ホーム上の照明の明るさの照度の向上や照明の増設は不可能との回答であった。列車時刻に合わせて、駅員の配置という提案についても、駅の無人化を進めている状況の中では、難しい。人件費削減といった経営効率化の観点から、要望に応えることはできない。



未来創政会

中沢 一博



コロナ禍において生活・経済の切れ目ない対策を

可能な限り対策を取る

Q ① 3密対策に対する市独自の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策支援金の考えは

A ② 市独自の第2弾「事業継続給付金」の早期実施を求めるが、考えは。③ 全国的に感染が進む中、市独自のプレミアム付き飲食・宿泊券の使用期間延長の考えは。④ 進路選択の大事な時期である中学3年生と高校3年生を対象としたインフルエンザ予防接種費用の補助の考えは。

A ① 様々な状況を勘案して、今、何をなすべきか迷っている。現在、庁内で議論している。検討はしているが早急に何ができるか考えていきたい。③ 事業者にとっては、早く換金す

ることが大事である。延期は考えていない。次への希望に繋がる新しい施策を考えたい。

④ 親の気持ちや受験者の気持ちになつたら考えなければならぬことである。庁内で十分検討させていただきたい。

少子化対策における経済支援策を

市の根幹であり重要施策である

Q ① 出産費用が増加する中、新年度予算に反映すべきと考え

A ② 不妊症支援策の拡充推進を。① 重要施策であることも限り十分検討している。限

られた財源の中、少子化対策は市の根幹と捉えている。② 当市は一回につき10万円助成している。経済支援を進める中、国の動向を注視していく。



市民クラブ

佐藤 剛



コロナ禍で今必要な地域経済回復と生活支援を

現行支援も把握し、今後の取組を検討していく

Q ① 新型コロナウイルスの感染拡大が続いている中で動き出した経済も、新しい生活様式

A ② 全ての事業所への効果を把握することは難しい。現在の支援策に取り組み、国や県の施策の実施状況も参考にしながら、一番いいやり方を模索したい。

Q ① 身動きできないコロナ禍では地域循環型の経済が求められる。② プレミアム付き飲食・宿泊券で

も宿泊関連に金が回らない現実だ。コロナ禍における逆境をチャンスと捉え、魚沼圏等広域連携で近場観光を掘り起こし、宿泊を生み出す戦略が今もアフターコロナ後も含め、必要でないか。

A ① 大部分の産業はインバウンド誘客や世界的なサブライチエーションという大きな枠組みの中で動いていることから簡単ではないが、広域連携という小さな枠組みでの取組は必要だと思う。

Q ① 収束しないコロナ禍、改善しない経済情勢の中で、フードバンク等、生活困窮者やひとり親世帯への生活支援が更に必要ではないか。

A ② 第3波での生活困窮増を憂慮している。社会福祉協議会のアンケート調査からも食料配布事業や子ども食堂の希望が多く、その拡充や新規の取組の今後の支援について、社協と協議していきたい。



南魚みらいクラブ

# 目黒 哲也



## 再生可能エネルギーでの循環型社会への取組は

**答** 国からもロードマップが示され、今後の重点課題である

**Q 質問** 当市における再生可能エネルギーの主要資源は。

**A 市長** 雪冷熱と小水力発電、そして木材利用と考えている。

**Q 質問** バイオマスタウン構想の進捗状況は。

**A 市長** 現在、この構想が進んでいない。主要資源を絞って、大きなテーマを打ち出す時が来ている。

**Q 質問** 国は小規模再生化開発を推している。「雪国まいたけの森づくり」事業に合わせて、小規模の森林バイオマス施設の展開は。

**A 市長** 産業や雇用につなげていく視点が大事であるから、当市だけではなく、広域で連携し

ないと目標は達成できない。協議していく。

**Q 質問** 下水道処理施設から生まれるバイオガスを増やすため、デイスポーザーの設置数を増やす施策は。

**A 市長** リフォーム補助で推進したが効果はなかった。国交省の紙オムツの実証実験は当市で11月から始まり、来春、紙おむつの粉碎実証実験の可能性が出てきた。

**Q 質問** バイオマスの拠点になる下水道処理施設に、今年度から農業集落排水のつなぎ込みが進んでいるが、施設の処理能力は大丈夫か。

**A 市長** 薬剤を投入する能力強化は必要。今後、大和浄化センターを編入するとすると、もう一系列増設が必要となる。



歩む会

# 勝又 貞夫



## 新医療体制を機に病院の機構改革を進めよ

**答** 地域全体で一つの病院をめざし、医療資源を活用したい

**Q 質問** 医療関係を専門に担う副市長の選任という新体制の目的と期待できる効果は何か。

**A 市長** 医療のまちづくり検討委員会の提言を受けて、庁内に医療対策推進本部を設置した。医師確保だけでなく、保健・介護・福祉などについて、実効性のある施策を推進するためには、極めて高度な知識と経験・人脈を有する方からの強いリーダーシップがなければ、前に進むことができないものと確信し、医療専門の副市長を選任した。

**Q 質問** 「地域で一つの病院」と繰り返し語られてきたが、新体制への移行を機に、機構改革を進める考えはないか。例えば市民病院とゆきぐに大和病院、城内

診療所を一つに合体させて、それを市民病院の大和診療所と城内診療所という位置付けにできないものか。

**A 市長** 医療のまちづくり検討委員会の提言の中にも、全体として一つの病院として考えて、今ある医療資源をフルに活用した、地域包括ケアシステムを目指すべきではないかという項目がある。その通りだと思う。

## グローバルTパークの現状と見通しは

**答** 市内外の企業との連携は着実に進んでいる

**Q 質問** 期待されたグローバルTパークの現状と、今後の見通しはどうか。

**A 市長** 市内・県内企業との連携は、様々な形で着実に進んでいる。ポストコロナ社会の到来による価値観や生活様式の変化に対応していくことが重要と考える。



未来創政会

大平 剛



**学園都市構想としての小中高の連携は**

**答** 各学校長を中心に情報交換を行っている

**Q 質問** 地域の学力を高めるため、学園都市構想の理念に基づく小中高の連携はどうなっているのか。

**A 教育長** 小中高、特に中学校と高校の連携は、各学校長を中心に情報交換を行っている。

また、今年度はコロナ禍で若干少なくなっているが、中学校と高校が、それぞれの特色を理解し、進学先を選択することができるように、情報交換を続けている。

小中高と連携を深めていくためには、小学校の時から、しっかりとした学力を身につけさせることが必要だ。大和地域に限らず、どの学校の子供たちも確かな力を身につけて、小中高が連携し、学びが深まるように、これからも連携を深めていきたいと考えている。

**国際大学卒業生との関係継続の方法は**

**答** 特色ある大学づくりに協力しながら進めたい

**Q 質問** 国際大学の卒業生との関係維持のために何をしているか。

**A 市長** 1982年の開学以降4千名を超える、110以上の国と地域に卒業生が帰っている。加えてその卒業生は非常に優秀な、国を背負って来て勉強された方が多く、そういう意味では、国際交流に協力的な団体等との色々な話の中で、国際大学もこれからの特色のある学校作りをもう一度考えようということが、理事会でも話に出ている。我々もそこに協力がどのようなことができるか、ということをやっていかねければならないと思う。ふるさと納税では一緒にやって取り組んでいる。



歩む会

牧野 晶



**雪のアピールは、様々な方法で**

**答** 様々な方法で取り組む

**Q 質問** 雪を東京に運ぶ方法もあれば、映像で見てもらう方法もある。費用対効果は、どちらがすぐれていると考えているか。

**A 市長** 映像も大事だと思っし実物も大切である。実物を運ぶことによりメディアに取り上げられ、評価の仕方によつては、効果は格段にあったと考えている。

**Q 質問** 夏に東京に雪を運ぶコストと、冬はコストが少なく例えば2回運んだりできる可能性もあるが、様々な方法を検討し南魚沼市の宣伝につなげる方法もあると思う。新潟県のインスタ映えを検索すると「清津峡の水鏡」が一番にくる。南魚沼市が一番となる方法を考えるべきではないか。

**水道料金セット割を検討して**

**答** 調査をしてみる

**Q 質問** 民間では「電気代とガス料金」、「携帯電話とプロバイダ契約」をセット契約すると割引されるサービスなど様々な公共料金のセット割引というものがある。通信会社などと組んで、水道料金セット割を検討してはどうか。

**A 市長** 現段階では、水道事業へのメリットが描けないため、検討段階に至っていない。調査をしてみたら全国で1か所、「水道と電気」のセット割をしている自治体があるようだが、どのようなことをやっているのか、今後調査しなければならぬと思う。



南魚みらいクラブ

吉田 光利



**創業・起業政策の重要度は**

**答** 市の持続に重要な政策の一つと考えている

**Q 質問** 起業を活性化するためにサテライトオフィスの誘致や支援が不可欠と思うが。

**A 市長** 市のITパーク、民間不動産、民宿でのワーケーション利用、「松井人材育成基金」事業もあわせ検討していく。

**Q 質問** 地元企業の技術レベルも上がっている。グローバルITパーク構想による海外IT企業の誘致には無理があり、軸足をサテライトオフィス事業に移すべきと思うが。

**A 市長** 考えは非常に近いものがあり、具体的には言えないが、その思いである。

**Q 質問** グローバルITパークの現場を見ると、オフィスの

気密性、空調機能、会議室の利便性等、誘致には環境の見直し整備が必要と思うが。

**A 市長** 実際の現場を見ての提言は耳を傾けなければならぬ思いである。民間のサテライトオフィス、相模原市の産業振興センターを視察し何が大事か思わされた。

**Q 質問** 都会の就農したい人と農業をやめたい人とのマッチングの機関はあるのか。

**A 市長** 現在、行政が行っている。良好な条件の農地は地域の担い手に耕作され、新規参入者は折り合いがつかないケースがある。

**Q 質問** 農業の担い手不足が最大の課題と考えるが対策は。

**A 市長** 個人の経営には限界ある。休みをきちんと取れる法人を育成し、就農につなげることである。

**総務文教委員会 管内調査**

期日 令和2年10月21日（水）

調査内容

**1 文化施設・体育施設の新型コロナウイルス感染症対策について**

教育委員会では新型コロナウイルス感染症対策において、国から示された方針や、業種ごとのガイドラインを参照し、また、県の警報や注意報に留意しながら、それぞれの施設において対策を取ってきました。

各施設においては、入場者数の制限や、利用時間を制限し、状況に応じて、各種の教室の中止や施設利用の休止なども行いました。

図書館では、閲覧席を半分程度に、長時間の滞在にならないようお願いしています。

**2 ふるさと納税について**

令和2年10月19日現在、寄附金額は前年度比で200%を超えています。増加した原因については、新型コロナウイルスの影響で、家庭内消費に係る米等の需要が高まったことと、今年度からポータルサイトを4つ増やし、新たな寄附者の開拓ができたことなどが考えられます。（1月31日現在の寄附額30億6,698万円）

**産業建設委員会 管内調査**

期日 令和2年10月19日（月）

調査内容

**1 新型コロナウイルス感染症に係る基幹産業への影響について**

プレミアム付き飲食・宿泊券の発行により、飲食店は予想以上の好景気を生み出しています。ただ、宿泊については使用数が5%にも達していません。GOTOキャンペーンでは東京の参加が決定し、先週議決された「雪恋」旅行券事業に期待しています。大きな起爆剤になることを目指した展開を心がけていきます。

農業は今のところ大きな影響は出ていません。製造業は徐々に厳しくなっている状況を耳にしています。観光面でも、宿泊施設の事業取りやめの話も聞いており、引き続き情報を冷静に分析して対応していきます。

**2 水道事業の地域別水源方式の費用対効果について**

まずは、上田地区を水源切り替えの先行モデル地区とし、試験運用を実施します。試験運用を通して初期投資額と維持管理費の総額を出し、地域別水源の個別運用と浄水場からの送水運用を比較していきます。

# 3月定例会 予告

次の定例会は3月1日～3月19日の予定です。

## 3月議会カレンダー(予定)

この予定は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

1日	月	本会議	8日	月	本会議 (一般質問)	15日	月	本会議 (予算審議)
2日	火	本会議	9日	火	本会議 (一般質問)	16日	火	本会議 (予算審議)
3日	水	社会厚生委員会	10日	水	本会議 (一般質問)	17日	水	本会議 (予算審議)
4日	木	産業建設委員会	11日	木	休会	18日	木	予備日
5日	金	総務文教委員会	12日	金	本会議 (予算審議)	19日	金	本会議

## 傍聴のご案内

本会議は、9時30分～市役所本庁舎3階議場で行います。どなたでも傍聴できます（ただし、児童の傍聴には議長の許可が必要となります）。詳しくは、議会事務局（☎773-6650）までお問い合わせください。

※現在、新型コロナウイルス感染症対策のため、傍聴の際はマスクの着用をお願いしています。

## 議会の新型コロナウイルス感染症対策

南魚沼市議会では、新型コロナウイルス感染症対策として、各議席や演壇にアクリル板を設置しました。また、議場入口で手指消毒の実施や1時間を目安に休憩を入れ、換気するなど、感染予防対策を徹底しながら、議会を行っています。



## 編集後記

民の心温まる救済活動のニュースは、市民として本当に誇らしく感じました。今年は何としてもワクワク効果に期待し、コロナ収束を願わずにはいられません。そして市民に読まれる「議会だより」を目指し、編集委員一同コロナ禍に負けず頑張りますので、よろしくお願い申し上げます。

編集委員 吉田 光利

昨年、異常少雪に始まり新型コロナウイルス感染症拡大による未曾有の経済ショック、そして市長選の真ただ中での、新型コロナウイルス感染症クラスター発生、初雪でのドカ雪による高速道路立ち往生をはじめとした交通インフラの麻痺など、激動の一年間でありました。しかしながら、立ち往生の被災者に対しての、自主的な市民の心温まる救済活動のニュースは、市民として本当に誇らしく感じました。今年は何としてもワクワク効果に期待し、コロナ収束を願わずにはいられません。そして市民に読まれる「議会だより」を目指し、編集委員一同コロナ禍に負けず頑張りますので、よろしくお願い申し上げます。

## 議会広報編集特別委員

- 委員長 …… 大平 剛
- 副委員長 …… 梅沢 道男
- 委員 …… 目黒 哲也
- 委員 …… 吉田 光利
- 委員 …… 中沢 道夫
- 委員 …… 勝又 貞夫
- 委員 …… 阿部 久夫